

平成 30 年度

県民世論調査

高知県

はじめに

高知県は、全国に先行した人口の自然減や、これに伴う経済規模の縮小、災害の多発といった数多くの課題に直面しています。

そうした中、県勢浮揚の実現に向けて、本県が抱える根本的な課題の解決につながる持続的な好循環を作り出していくため、県では、産業振興計画の推進による「経済の活性化」をはじめ、「日本一の健康長寿県づくり」、「教育の充実と子育て支援」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」、「インフラの充実と有効活用」の5つの基本政策に基づいた取組を進めるとともに、それらの政策に横断的に関わる政策として「中山間対策の充実・強化」、「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」、「文化芸術とスポーツの振興」に向けた取組を進めています。

例えば、産業振興計画による地産外商の取組は今年度で10年目を迎えます。これまでに多くの方が新たなチャレンジをされてきた結果、この10年で高知は「人口減少に伴って縮む経済から、拡大する経済」へと転換を果たしつつあります。また、南海トラフ地震対策では、津波避難空間の整備を進めてきた結果、1,445カ所の避難路、避難場所の整備が完了し、津波から命を守る対策が大きく進むなど、各政策の推進を通じて明るい兆しが表れつつあります。

こうした明るい兆しを将来に亘り確実なものとしていくためには、県民の皆様のニーズを的確に把握、分析し、それを生かした政策づくりが今後も大変重要と考えております。

この調査は、県民の皆様の県政に対する関心やご意見などを把握し、その結果を政策立案などの基礎資料とするために実施したものです。

本年度は、「県の基本政策」、「第3期産業振興計画」、「がん検診」、「ジェネリック医薬品の使用促進」、「地域地域で安心して住み続けられる県づくり」、「人口減少社会を踏まえた女性の活躍促進」、「いじめ防止対策」、「夜間中学」、「動物（犬猫）の愛護及び管理」の9つのテーマについて、調査を行いました。

これらの調査に集約された県民の皆様の声を、今後の県政に十分反映させていきたいと考えています。また、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

この調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成30年12月

高知県総務部長 君塚 明宏

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査設計.....	1
4. 回収状況.....	1
5. 報告書の見方.....	1
第2章 調査回答者の属性	3
1. 性別	3
2. 年齢	4
3. 職業	5
4. 属性	6
5. 婚姻状況.....	6
6. 子どもの状況	7
7. 世帯の年間収入	8
8. ペットの有無	9
9. お住まいの場所	10
第3章 調査の集計結果	11
1. 県の基本政策について	11
2. 第3期産業振興計画ver.3について	41
3. がん検診について	49
4. ジェネリック医薬品の使用促進について	73
5. 地域地域で安心して住み続けられる県づくりについて.....	103
6. 人口減少社会を踏まえた女性の活躍促進について.....	153
7. いじめ防止対策について.....	172
8. 夜間中学について	178
9. 動物(犬猫)の愛護及び管理について	187
第4章 数表	201
第5章 調査票	263

<第1章 調査の概要>

第1章 調査の概要

1. 調査目的

社会情勢の変化に伴い、県民の価値観が多様化する中であって、県民のニーズ、意識等を把握し、県政運営の基礎資料とするため、県民を対象とした世論調査を実施する。

2. 調査項目

- (1) 県の基本政策について
- (2) 第3期産業振興計画 ver.3 について
- (3) がん検診について
- (4) ジェネリック医薬品の使用促進について
- (5) 地域地域で安心して住み続けられる県づくりについて
- (6) 人口減少社会を踏まえた女性の活躍促進について
- (7) いじめ防止対策について
- (8) 夜間中学について
- (9) 動物（犬猫）の愛護及び管理について

3. 調査設計

- | | |
|----------|---------------------------|
| (1) 調査地域 | 高知県全域 |
| (2) 調査対象 | 満18歳以上の県民 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法（市町村の選挙人名簿より抽出） |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |

4. 回収状況

- (1) 有効回収数 1,634（54.5%）

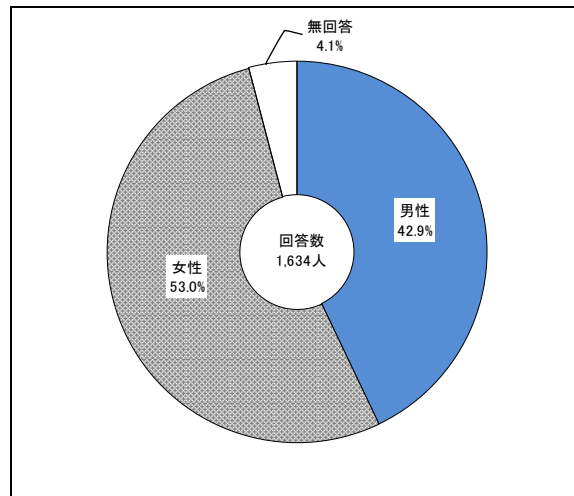
5. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。このために、その比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。また、設問で回答がなかった選択肢について、図中の比率表記（0.0%）を省略している。

<第2章 調査回答者の属性>

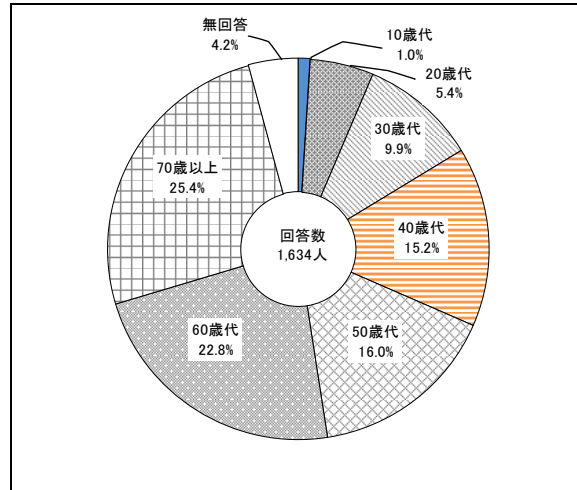
第2章 調査回答者の属性

1. 性別



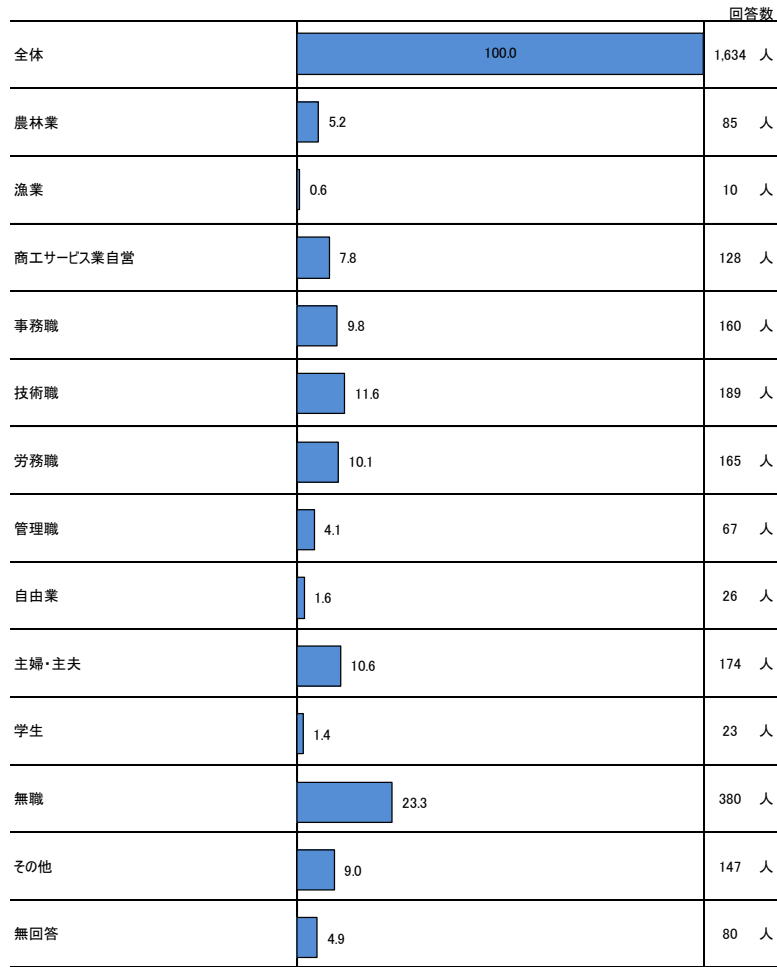
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	701	42.9
女性	866	53.0
その他	-	-
(無回答)	67	4.1
計	1,634	100.0

2. 年齢



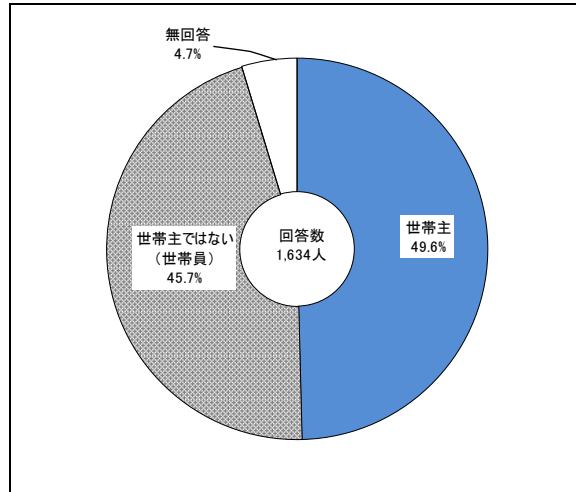
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
10 歳代	17	1.0
20 歳代	89	5.4
30 歳代	162	9.9
40 歳代	249	15.2
50 歳代	261	16.0
60 歳代	373	22.8
70 歳以上	415	25.4
(無回答)	68	4.2
計	1,634	100.0

3. 職業



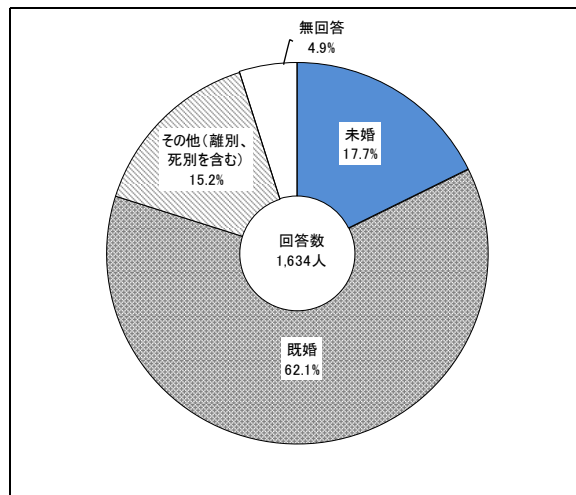
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
農林業	85	5.2
漁業	10	0.6
商工サービス業自営	128	7.8
事務職	160	9.8
技術職	189	11.6
労務職	165	10.1
管理職	67	4.1
自由業	26	1.6
主婦・主夫	174	10.6
学生	23	1.4
無職	380	23.3
その他	147	9.0
(無回答)	80	4.9
計	1,634	100.0

4. 属性



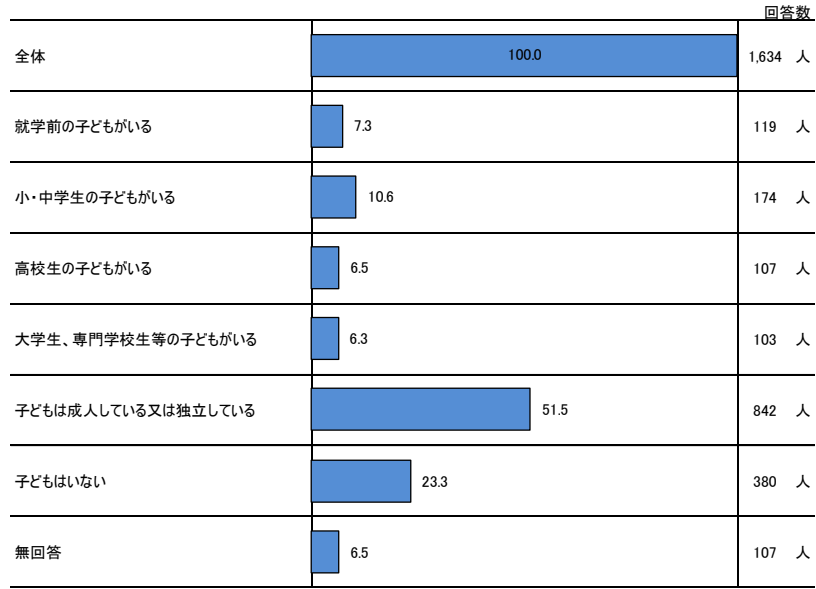
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
世帯主	811	49.6
世帯主ではない	747	45.7
(無回答)	76	4.7
計	1,634	100.0

5. 婚姻状況



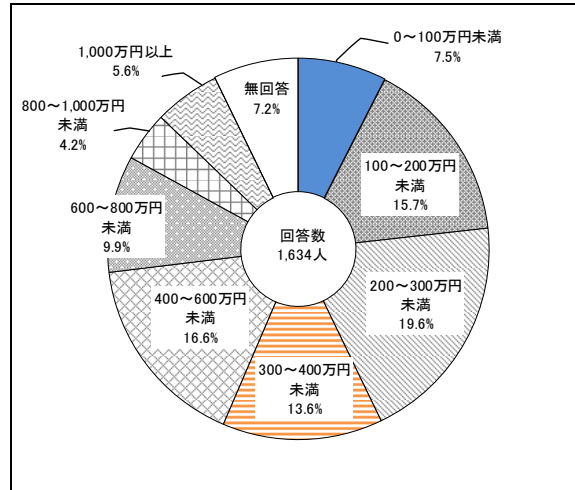
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
未婚	290	17.7
既婚	1,015	62.1
その他	249	15.2
(無回答)	80	4.9
計	1,634	100.0

6. 子どもの状況



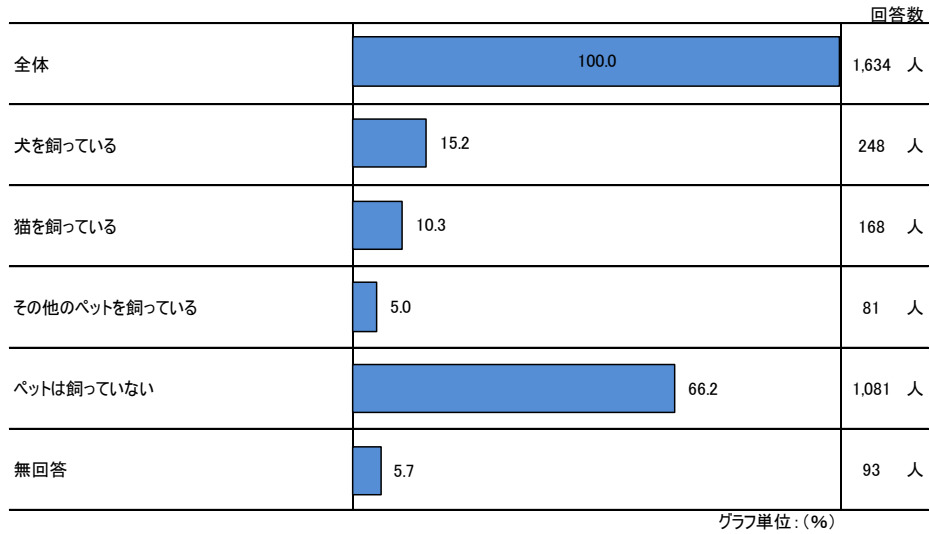
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
就学前の子どもがいる	119	7.3
小・中学生の子どもがいる	174	10.6
高校生の子どもがいる	107	6.5
大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	6.3
子どもは成人している又は独立している	842	51.5
子どもはいない	380	23.3
(無回答)	107	6.5
計	1,634	100.0

7. 世帯の年間収入



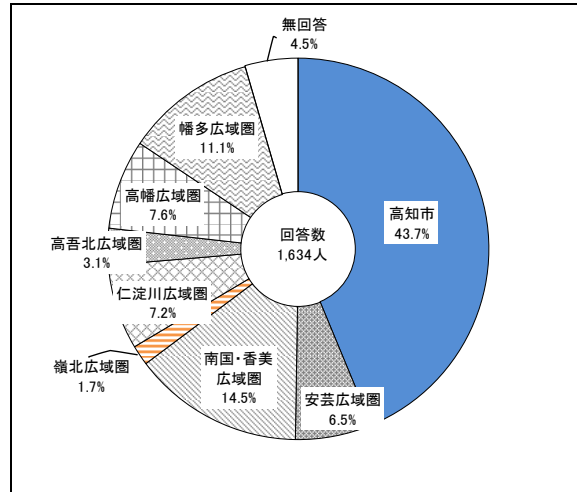
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
0～100 万円未満	123	7.5
100～200 万円未満	256	15.7
200～300 万円未満	321	19.6
300～400 万円未満	223	13.6
400～600 万円未満	271	16.6
600～800 万円未満	162	9.9
800～1,000 万円未満	69	4.2
1,000 万円以上	92	5.6
(無回答)	117	7.2
計	1,634	100.0

8. ペットの有無



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
犬を飼っている	248	15.2
猫を飼っている	168	10.3
その他のペットを飼っている	81	5.0
ペットは飼っていない	1,081	66.2
(無回答)	93	5.7
計	1,634	100.0

9. お住まいの場所



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
高知市	714	43.7
安芸広域圏	107	6.5
南国・香美広域圏	237	14.5
嶺北広域圏	28	1.7
仁淀川広域圏	118	7.2
高吾北広域圏	51	3.1
高幡広域圏	125	7.6
幡多広域圏	181	11.1
(無回答)	73	4.5
計	1,634	100.0